



教職員、児童、保護者・地域の方 みんなでめざす学校像

7月21日（水）、今年度2回目の学校運営協議会を行いました。

この会議の中で、参加された保護者・地域の方とともに「みんなでめざす学校像」について協議をしました。

特に、「相手を尊重し、やさしい言葉、きれいな言葉、ていねいな言葉を使う」ということについて、子ども同士であっても、子どもと大人（教職員、保護者・地域の方）であっても、大人同士（教職員と保護者・地域の方、保護者と地域の方）であっても、大切にしていこうと、確認しました。

「言葉と相手を大切にする学校」をつくる

▶ 教職員、児童、保護者・地域の方が一体となり、言葉と相手を大切にする学校づくりをめざしたい。

【子ども】チャレンジ目標

- 相手の考え 聞き合おう
- 相手に伝える あいさつをしよう
- 相手も楽しい 外遊びをしよう

【教職員、子ども、保護者・地域の方】

相手を尊重し、やさしい言葉、きれいな言葉、ていねいな言葉を使う。

<子ども⇄子ども、子ども⇄大人、大人⇄大人>



私達がつかう言葉は、周囲の人が普段使う言葉に影響を受けます。子どもたちにとって望ましい言語環境をつくるためにも、互いに尊重し合う関係を構築するためにも、みんなで「やさしい言葉、きれいな言葉、ていねいな言葉」を意識していきたいと思います。

時代を超えて変わらない大事なこと

8月17日（月）、地区人権教育推進委員協議会主催で「子どもと大人の人権学習会」が行われました。本協議会委員の他に、学童保育児童及び一部保育者も参加し、私も出席しました。学習会では、DVDを視聴した後で意見交換を行いました。

DVDの内容は、次のとおりです。

学校からの帰り道、マナブは車椅子に乗って動けなくなっているおじさんを押しあげることにした。マナブは、道行く人に褒められ、「ボランティアをしているんだ！」と得意げになる。しかし、誰にも会わなくなっからは、「どうしてこんなことをしているんだろう？」と考え始める。さらに、坂道で車椅子を押す大変さが体を襲ってくるとともに、「ボランティアって何だ？ ぼくは、誰かにいいことをしているところを見てもらいたかっただけなんだろうか？」という気持ちが大きくなっていく。そして、とうとう車椅子を押す力が限界になり…

このDVDを視聴して、参加した子どもたちは「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」の大切さを学びました。このことは、私達大人も子どもの頃から「大切だ」と言われ続けてきたことです。時代が変わり、今の世の中は価値観が多様化していますが、時代を超えて変わらない大事なことはたくさんあると思います。例えば、「自分がいやなことは相手にはしない（言わない）こと」「みんなに迷惑をかけないように行動すること」などです。これらを未来でも大切にできるよう、今、私達大人が、子どもたちに伝えていく必要があると思いました。

（文責 校長 原 浩一郎）

第2回学校運営協議会

～地域と共にある学校づくりをめざして～

第2回学校運営協議会では、「地域連携」をテーマに、学校運営協議会の委員の皆様と本校教職員が3つの課題について熟議を行い、学校・家庭・地域が連携して取り組むための方策について活発な意見交換が行われました。各グループでは、学校・家庭・地域それぞれの立場から多様な意見が交わされ、非常に充実した時間となりました。以下に、熟議で出された意見の一部を紹介します。



○恩田の魅力～子どもたちに残したい地域のよさとは～

- ・子どもたちが早い段階で恩田のよさに気づくことは、将来にわたり恩田を思う気持ちを持ち続けることにつながる。
- ・地域と関わる経験を通して、「自分は恩田の子どもである」という自覚が育つことが重要である。
- ・恩田の場所には地域の人々の思いや願いが込められており、知れば知るほど子どもたちの中に感謝の気持ちが生まれる。
- ・学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが恩田の魅力を実感できる機会を継続的に提供することが求められる。

○恩田の子どもたちの良い所～ポジティブ行動支援の取組の展開について～

- ・学校・家庭・地域が子どもの良いところを丁寧に価値づけ、褒められたり認められたりする経験を積ませることで、子どもが自信をもって行動できるようにする。
- ・保護者にも「ありがとうの花」を配布し、家庭でも子どもの良さを認め合う機会を広げる。
- ・「ありがとうの花」の取組を地域にも周知し、地域の方々にも子どもたちの良さを共有してもらう（ふれあいセンターのInstagramや回覧板の活用）。
- ・集まった「ありがとうの言葉」を学校便り等で紹介し、学校・家庭・地域が一体となって子どもの良さを見つけ、認める風土を広げていく。

○ネット世代の恩田の子どもたちを学校・家庭・地域でどう守るか

- ・インターネットの使い方について、学校だけでなく家庭でも話し合い、共通のルールを決めて子どもと共有する。
- ・学校で講師を招いて情報モラル教室を開催し、保護者や地域の方々にも参加してもらうことで、ネットの危険性や適切な使い方への理解を広げる。
- ・総合的な学習の時間でインターネットやSNSの危険性について調べ、参観日などで子どもたちが発表する機会を設け、家庭・地域にも学びを共有する。
- ・外遊びの楽しさや魅力を地域で伝え、インターネットやテレビゲーム以外の健全な遊びの選択肢を広げることで、子どもの生活のバランスを整える。

9月の主な行事予定

9月 1日(火) 成長測定(1年)
委員会
9月 8日(火) クラブ活動
9月14日(月)～18(金) 短縮授業
9月24・25日(木・金) 個人懇談会
(2～6年)
9月29日(火) 委員会
9月30日(水) 全校40分授業

10月の主な行事予定

10月 1日(木) 就学時健診
10月5・6日(月・火) 5年宿泊学習
10月 7日(水) 避難訓練
10月 9日(金) 6年確認問題(CBT)
10月12日(月) スポーツの日
10月13日(火) 代表委員会
10月14日(水) 2年社会見学
10月15日(木) 5年確認問題(CBT)
10月15・16日(水・木) 6年修学旅行
10月19日(月) 異動演劇教室
教育実習(後期)開始
(10/30まで)
10月22日(木) 学校運営協議会
10月27日(火) 人権参観日・講演会
委員会
10月28日(水) 1年社会見学